

令和 5 年 10 月 30 日

仙台市再犯防止推進ネットワーク会議

せんだい支えあいのまち推進プラン**令和 4 年度における再犯防止推進に向けた取り組みの振り返り（報告）**

せんだい支えあいのまち推進プランにおける再犯防止推進分野の令和 4 年度の取り組みに対する、仙台市再犯防止推進ネットワーク会議の意見は次の通りである。

なお、意見のとりまとめにあたっては、仙台市作成の令和 4 年度総合評価シートを参考とした。

1 仙台市再犯防止推進ネットワーク会議の取り組み

再犯防止分野の重点的な取り組みとして掲げている「関係機関団体による支援のネットワークづくり」として、令和 3 年 11 月に設置した仙台市再犯防止推進ネットワーク会議（以下、「当会議」という。）を令和 4 年度は 3 回実施した。第 1 回目の会場を更生保護法人宮城東華会とし、会議後に施設見学を行うなど、関係機関同士の連携・理解促進に努めた。

令和 4 年度の主な取り組みとして作成した「支援者のための立ち直り支援ハンドブック」は、保護司等の更生保護に携わる支援者が支援対象者を適切な窓口につなぐため、立ち直り支援に資する主な相談窓口を紹介し、福祉及び刑事司法の中での具体的な支援の流れが分かるよう情報をまとめたものである。保護司の方のご意見も伺いながら、掲載内容やデザインなど、ネットワーク会議における議論を踏まえて作成に至った。この冊子により、支援者がそれぞれの取り組みについて相互理解し、円滑かつ効果的に支援をつないでいくことに資することを期待する。

「仙台市再犯防止推進セミナー」は、ネットワーク会議構成機関の実務者同士がお互いの役割を把握し、円滑な連携をとれるようにすることを目的に開催し、「逮捕から出所、社会復帰後の支援や連携について」など 2 テーマで実施し、41 名の参加を得た。

今後の方向性として、当ネットワーク会議において、居住や就労の確保等、より具体的な課題について協議し、受け入れ態勢を広げていけるような取り組みを検討していく必要がある。

2 その他の取り組み

アディクションについての支援者向け勉強会の開催をはじめ、社会を明るくする運動の広報啓発として小学生に出前授業を行うなど、立ち直り支援への理解と協力を広げる活動を定期的に実施している。

住宅確保要配慮者の円滑な入居支援が行えるよう、居住支援に関するワーキングに新規の居住支援法人 3 団体が参画し、居住支援法人と市の福祉部局などと意見交換の場を設けた。

また、令和 4 年度から、仙台市の地域福祉活動者らが集う仙台市社会福祉大会において、保護司及び更生保護女性会、BBS 会等の更生保護ボランティアを市長感謝状の贈呈対象とした。

仙台市のこうした様々な取り組みを通して、更生支援への理解浸透が広く図られていくことに期待したい。